

令和6年度第1回長浜市地域包括支援センター運営協議会  
会議録（要点録）

日時：令和6年7月11日（木）

午前10時～午前11時40分

会場：長浜市役所1階 多目的ルーム3～4

出席委員：香水千明、橋本牧子、小倉味穂、堀口幸二、岩根健治、田中宗雄、  
橋本文男、西川由香里、清水康治、喜多百合子、小林孝子（敬称略）

欠席委員：森上直樹（敬称略）

地域包括支援センター職員：北川センター長、川崎所長、丸岡所長  
古脇所長、沢田副参事

生活支援コーディネーター：福本副主幹

出席職員：森部長、大塚課長、星野課長代理、福永副参事、木下副参事、主馬係長、  
山岸主幹、引山社会福祉士

傍聴者：1名

## 1 開会

- ・会長に森上直樹委員を選出
- ・職務代理者に小林孝子委員を選出
- ・本会議は公開に決定

## 2 令和5年度長浜市地域包括支援センター実績報告について

委員	説明の中にあつた「ネグレクト」と「フレイル」という言葉を初めて聞いた。言葉の意味を教えてほしい。
事務局	「ネグレクト」は「放棄・放任」という意味がある。 「フレイル」は「健康と要介護状態の中間の虚弱状態」を指す。
委員	普段から支援を受けている高齢者は、災害時を想定すると不安が大きいと思うが、どのような対応を考えておられるか。
事務局	昨年度、被災時における事業の再開に向けたBCP計画を地域包括支援センターごとに作成した。災害対応としては、まず利用者の安否確認が先決でありその名簿作成が重要である。また、災害の規模や種類によって、災害対応のシミュレーションが必要と考えている。
委員	資料に県全体の数値をつけてもらえると長浜市の現状と比べやすいので、次回からの資料について検討してもらいたい。
事務局	地域包括支援センターは、市町が設置するものであり、県内のデータがまとまっているものがない。 今回の資料に令和4年度の実績であるが、評価指標を活用した地域包括支援センターの自己評価について、長浜市・滋賀県・全国の数値が比べられるグラフを掲載している。権利擁護の項目のみ滋賀県や全国よりも低い傾向があるが、その他は本市の各センターは全国・滋賀県の平均を上回っている。

### 3 令和6年度長浜市地域包括支援センターの概要・重点的取組みについて

委員	災害時の個別避難計画は地域包括支援センターか長浜市の取り組みなのか教えてほしい。
事務局	個別避難計画は、国の施策に基づいて市が長浜市避難支援見守り支えあい制度の一環として実施しており、重症の方から優先して対応できるようにケアマネジャーや社会福祉協議会とも連携している。 各地域包括支援センターには市の取組を周知・啓発するという役割を担ってもらっている。
委員	高齢化や認知症発症者の増加により、高齢者が自身の財産を守れなくなっているケースが増えている。地域包括支援センターには、普段の支援の中で権利擁護支援の必要性を把握し、任意後見や親族後見を勧めてほしい。 また、長浜市の現状は把握できていないが、ケアマネジャーが足りなくなっている市町村が出ていると聞いている。県内でも、複数の自治体を担当区域とするケアマネジャーに対して、当該地域の住民を担当した場合に加算する独自の補助金を設ける自治体もあると聞いている。長浜市でもケアマネジャー不足の問題が発生してくるかもしれないので、善処していただけるとよい。
事務局	高齢者人口の増加とともに、権利擁護が課題となる方の増加が課題となるのは委員のご指摘の通りである。今後も身寄りがなく、様々な支援を必要とするケースは増えると予想される。そういった現状を踏まえて、各地域包括支援センターにおける啓発事業の一つとして成年後見制度・権利擁護制度の周知に努めている。

#### 4-1 地域ケア会議

##### ① 地域専門職連携会議（神照地域）の事例紹介

委員	報告の中で、外国人の多さや地域でのつながりについて話が出ていたが、外国人の相談件数が増えているのか。
事務局	通訳が必要なケースは以前に比べて増えている。言葉の問題だけでなく、困窮も重なっていて対応に工夫が必要なケースが増えている。

#### 4-2 地域ケア会議内容の事例紹介

##### ② 個別ケア会議を活用した例

委員	事例発表にあった地域課題を有する会議は、誰が呼びかけをするのか。
事務局	発表させていただいたケースは、本人への対応方法に困ったケアマネジャーから地域包括支援センターに相談があり、開催を調整したもの。支援に当たる方誰もが一人で抱え込まず、相談していただきたい。
委員	経済的な困窮がある中でどうやってゴミの清掃をしたのか。
事務局	まずは、清掃・ごみ処分に対する本人の承諾を取り付けることから開始し、関係機関の支援者が業務の一環として協力しながら処分や整理を行った。